

子供宝也 No.2

平成 24 年 5 月 2 日

尼崎市立武庫東小学校 校長 大楠正治

つらい1日・・・

いよいよ本格的な工事を控え、プール周辺や中庭の樹木が伐採されており、まもなく南北の仮設門も完成が間近となってきました。

先日、東門の横にある大きな木が伐採されました。何十年もかけてここまで成長してきたのに、ほんの15分ほどで切り倒されました。その場を離れることができずに、ずっと立ちすくんでしまいました。「こいつも生きていけるのになあ。」と思い、寂しいというか悲しいというか、つらい気持ちになりました。

何日かして、5年生の女の子が二人、校長室にやってきました。話を聞くと、その子も悲しい思いになっているということでした。そこで、工事のおじさんに頼んで木の切れ端をもらってきて、教室の花瓶にさしているんだけど、安定が悪いし、校長室で預かってほしいと言うのです。生きているものに対するやさしさ。とてもうれしく思いました。でも、「自分たちで世話をするほうがいいと思うよ。」と言って教室へ帰りました。

あとで、担任の先生に聞くと、何人かの子どもたちも悲しんでいたということでした。3年生の時、環境学習の一環として、学校にある樹木の名前を調べて、木に名札をつけていくといった学習をしました。その時、自分がかかわった木に対しての思い入れが強かった子どもたちにとって、本当にやりきれない気持ちだったのでしょう。

保護者や地域のみなさんのなかには、本校の卒業生もたくさんおられます。みなさんの気持ちも同じではないかなと思うと、私自身も本当につらいです。

先ほどの女の子は、「新しい学校になったら、木のたくさんある学校にしてください。」と言って校長室を出て行きました。「うん。がんばるな。」と答えましたが、なんだかつらい1日でした。

目から描くんや！！

4年2組の子どもたちが図工室で鏡を見ながら自画像を描いていました。まずは右目から描くのです。次が左目、次が鼻、次が口、次があご……。恥ずかしながら、私はいつも輪郭から描いていました。こんな順番で描いていると確かになんだかいい感じなのです。子どもたちは真剣そのものです。しばらくすると「おっ、なんか似てるなあ。」という子ども自身の声が聞こえました。とてもうれしそうです。何かができあがっていく喜び。子どもの目がとてもキラキラと輝いていました。

「よかった。」と思いました。

お願い

日課表が変わりました。それに合わせて朝の職員打ち合わせの時刻も8時20分から8時30分まで行うように改めました。しっかり打ち合わせを行うためにも、欠席等の連絡につきましては、電話ではなく、なるべく連絡帳でお願いいたします。